

2019年11月期 決算説明資料

 グループ

2020年1月15日
ニッケ(日本毛織株式会社)
東証第1部 3201

2019年11月期ハイライト

2019年11月期実績は前期比で増収増益。営業利益は10期連続で増益、売上高・利益は3期連続で過去最高値を更新

売上高 1,264.0億円（前期比 14.4%増 ↑）

営業利益 104.7億円（前期比 25.1%増 ↑）

経常利益 111.6億円（前期比 22.3%増 ↑）

親会社株主に帰属する

当期純利益 65.2億円（前期比 23.6%増 ↑）

目次

I.2019年11月期 実績	P 4～
II.RN130第1次中計 総括	P13～
III.2020年11月期 業績予想	P23～
IV.株主還元	P33～
V.トピックス	P37～
VI.参考資料	P41～

I.2019年11月期 実績

衣料繊維事業



産業機材事業



人とみらい開発事業



生活流通事業



連結業績の概要について



	実績			前期比増減		中計目標
	2017/11期	2018/11期	2019/11期	金額	比率	2019/11期
(金額:百万円)						
売上高	103,498	110,538	126,401	15,863	14.4%	120,000
営業利益	8,348	8,368	10,472	2,103	25.1%	9,000
営業利益率	8.1%	7.6%	8.3%	0.7%	-	7.5%
経常利益	9,089	9,128	11,165	2,036	22.3%	-
特別損益	-1,038	-695	-1,010	-314	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	5,270	5,274	6,520	1,246	23.6%	6,300
ROE	6.2%	6.0%	7.2%	1.2%	-	7.0%

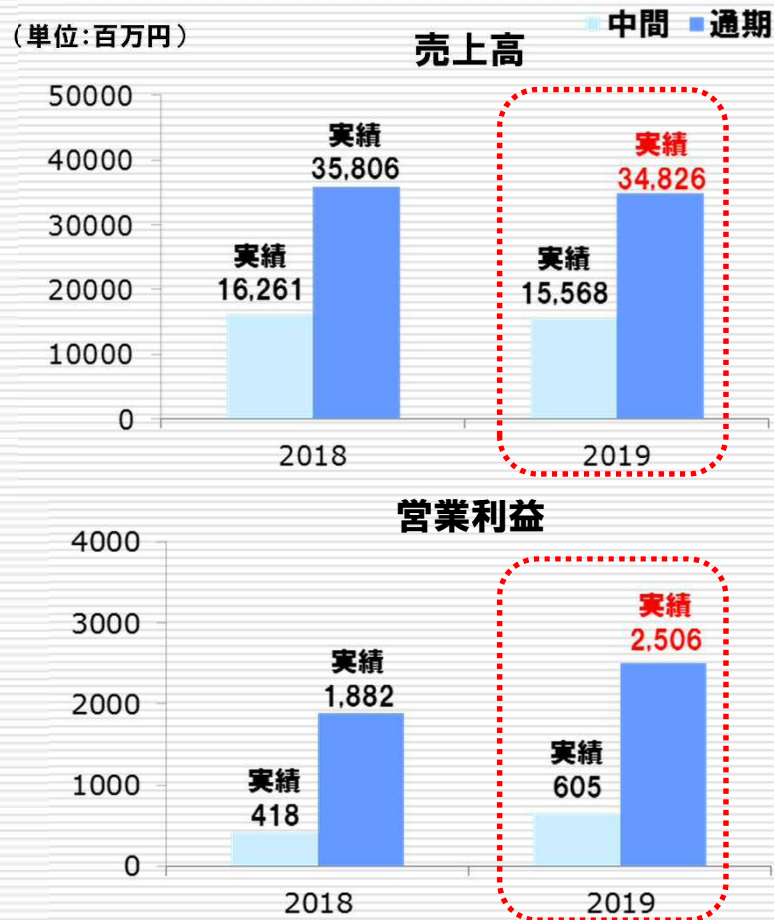
- ✓ 売上は衣料繊維が減収、産業機材、人とみらい開発、生活流通は増収
- ✓ 営業利益は各事業部とも好調に推移し前期比で増益

セグメント別業績の概要



		実績		前期比増減		中計目標
		2018/11期	2019/11期	金額	比率	2019/11期
(金額:百万円)						
衣料繊維	売上高	35,806	34,826	-980	-2.7%	44,000
	営業利益	1,882	2,506	623	33.1%	3,300
	営業利益率	5.3%	7.2%	1.9%	-	7.5%
産業機材	売上高	22,213	25,784	3,571	16.1%	22,000
	営業利益	1,562	1,820	258	16.5%	1,692
	営業利益率	7.0%	7.1%	0.1%	-	7.7%
人とみらい開発	売上高	38,688	47,101	8,413	21.7%	40,000
	営業利益	5,770	6,907	1,137	19.7%	6,250
	営業利益率	14.9%	14.7%	-0.2%	-	15.6%
生活流通	売上高	13,830	16,568	2,738	19.8%	15,000
	営業利益	715	950	234	32.8%	711
	営業利益率	5.2%	5.7%	0.5%	-	4.7%
その他・調整	売上高	-	2,120	2,120	-	-1,000
	営業利益	-1,562	-1,712	-149	-	-2,953
合計	売上高	110,538	126,401	15,683	14.4%	120,000
	営業利益	8,368	10,472	2,103	25.1%	9,000
	営業利益率	7.6%	8.3%	0.5%	-	7.5%

衣料繊維事業の概況



前期比で減収増益

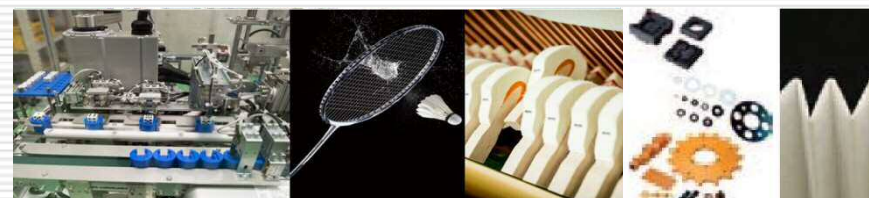
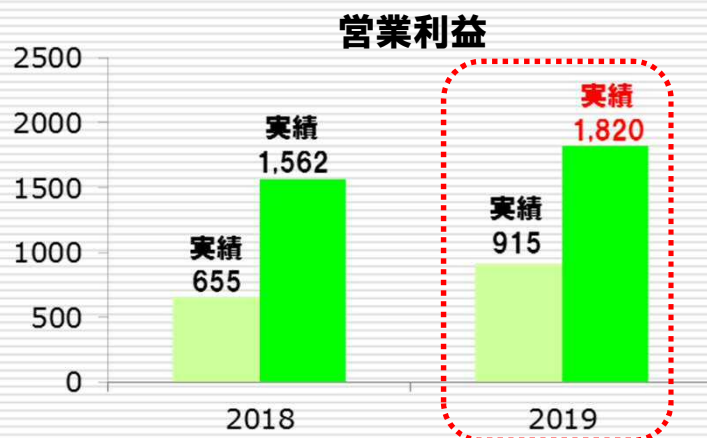
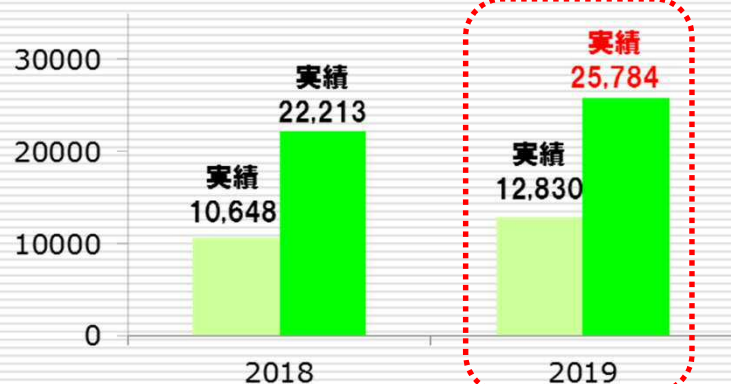
売上高	34,826百万円	2.7%減↓
営業利益	2,506百万円	33.1%増↑

<業績概要>

- 学校制服用素材はほぼ前期並みに推移
- 一般企業制服用素材はオリンピックを契機とした更改需要で、下期に販売が増加
- 売糸は高付加価値品に販売を絞込んだ事に加え、中国紡績工場売却により収益改善
- 羊毛原料価格高騰によるコストアップ等が収益を圧迫

産業機材事業の概況

(単位:百万円) 売上高 〇 中間 ■ 通期



前期比で増収増益

売上高 25,784百万円 16.1%増 ↑

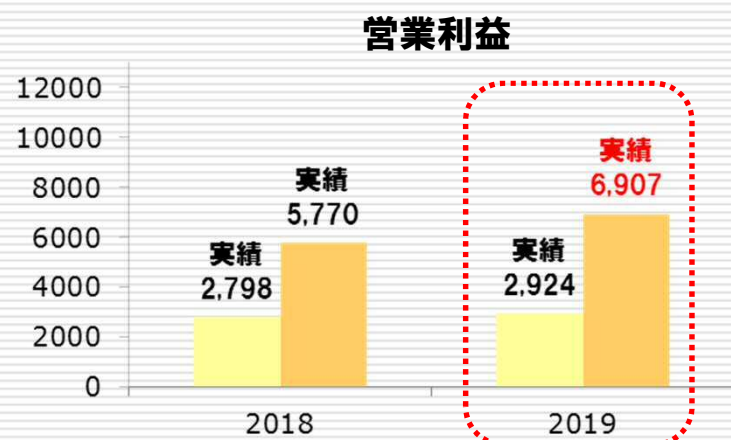
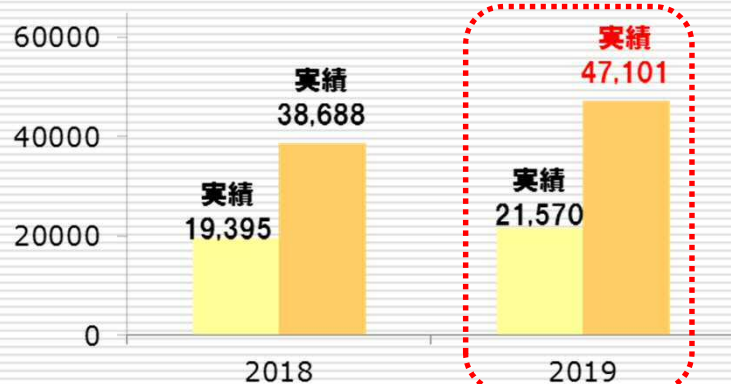
営業利益 1,820百万円 16.5%増 ↑

<業績概要>

- 今期より(株)エミーが通年で連結に寄与
- 車載電装品製造ラインのFA装置の販売が好調に推移
- 中国では環境用フィルターの販売が引き続き好調も、楽器用資材は下期に減速
- 車両向け不織布・縫製糸は堅調に推移

人とみらい開発事業の概況

(単位:百万円) 売上高 中間 通期



前期比で増収増益

売上高 47,101百万円 21.7%増 ↑

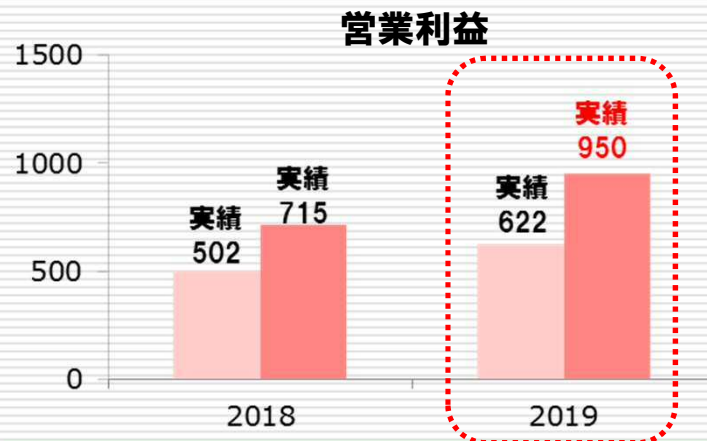
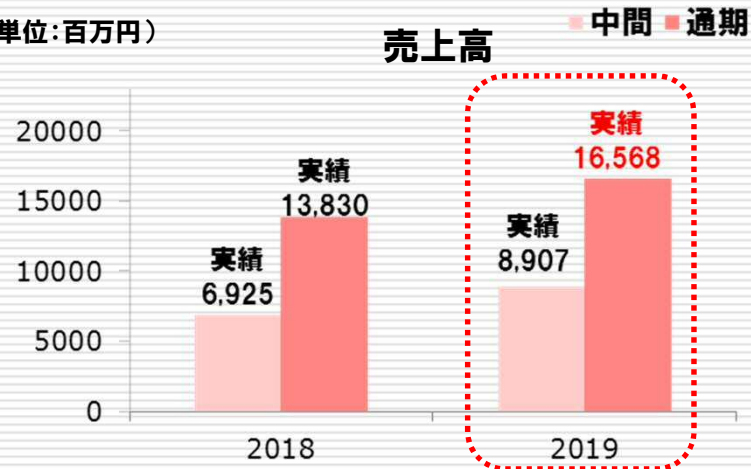
営業利益 6,907百万円 19.7%増 ↑

<業績概要>

- 商業施設運営はリニューアル効果等で引き続き好調に推移
- 介護関連は入居者数増加で好調
- 建設関連は大型工事の受注増加に加え、販売用不動産の売却が業績に大きく貢献
- 保育関連は新規施設開園で売上拡大も先行投資費用が増加

生活流通事業の概況

(単位:百万円)



前期比で増収増益

売上高 16,568百万円 19.8%増 ↑

営業利益 950百万円 32.8%増 ↑

<業績概要>

- 今期より(株)AQUAが通年で連結に寄与
- 100円ショップ向け商材、生活家電・雑貨等の販売が好調に推移
- 保険事業は引き続き堅調に推移
- ホビー・クラフト分野はインク、スタンプとも低調

連結貸借対照表/連結CF サマリー



(金額:百万円)

連結貸借対照表	2018/11	2019/11	増減	連結C/F	2018累計	2019累計	増減
流動資産	70,575	82,027	11,452	営業キャッシュフロー	5,812	13,694	7,881
固定資産	71,069	66,679	-4,389	投資キャッシュフロー	-2,933	-3,143	-209
資産合計	141,644	148,707	7,062	財務キャッシュフロー	-1,483	-2,923	-1,440
流動負債	38,355	40,353	1,997	現金及び現金同等物の期末残高	17,425	25,013	7,587
固定負債	14,093	15,009	915				
負債合計	52,449	55,362	2,912				
株主資本	83,158	87,898	4,739				
その他包括利益累計額	4,997	4,012	-985				
非支配株主持分	1,039	1,434	395				
純資産合計	89,195	93,344	4,149				
負債・純資産合計	141,644	148,707	7,062				
(自己資本比率)	62.2%	61.8%	-0.4%				

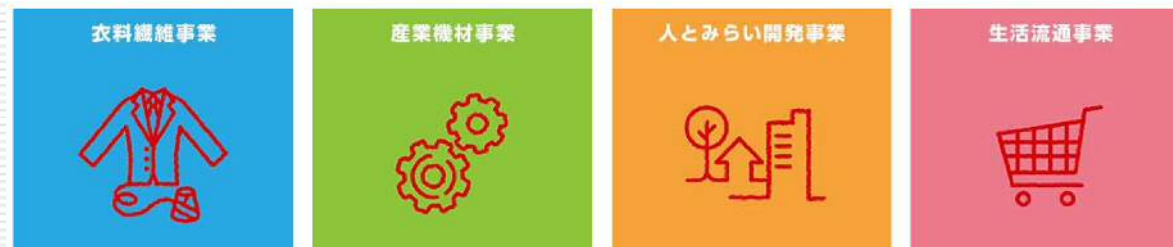
設備投資額/減価償却費推移



2019 主な投資案件

- ・ナインアワーズ新大阪駅(カプセルホテル)内装工事関連 約4億円
- ・市川コルトンプラザ改修関連 (別棟ツムグテラスリニューアル) 約9億円
- ・Kids Duo International市川 (ハイソング幼児園) 出店関連 約3億円 等

II.RN130第1次中計 総括



RN130第1次中計 総括



2019年11月期は、RN130第1次中期経営計画で掲げた
「売上高1,200億円以上、営業利益90億円以上」を達成

	RN130第1次中計			
	2017/11期	2018/11期	2019/11期	
	実績	実績	実績	中計目標
(単位:百万円)				
売上高	103,498	110,538	126,401	120,000
営業利益	8,348	8,368	10,472	9,000
営業利益率	8.1%	7.6%	8.3%	7.5%
経常利益	9,089	9,128	11,165	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,270	5,274	6,520	6,300
ROE	6.2%	6.0%	7.2%	7.0%

RN130第1次中計 セグメント別業績



		RN130第1次中計			
		2017/11期	2018/11期	2019/11期	
(単位:百万円)		実績	実績	実績	中計目標
衣料繊維	売上高	35,957	35,806	34,826	44,000
	営業利益	2,017	1,882	2,506	3,300
	営業利益率	5.6%	5.3%	7.2%	7.5%
産業機材	売上高	20,545	22,213	25,784	22,000
	営業利益	1,657	1,562	1,820	1,692
	営業利益率	8.1%	7.0%	7.1%	7.7%
人とみらい開発	売上高	34,470	38,688	47,101	40,000
	営業利益	5,485	5,770	6,907	6,250
	営業利益率	15.9%	14.9%	14.7%	15.6%
生活流通	売上高	12,523	13,830	16,568	15,000
	営業利益	656	715	950	711
	営業利益率	5.2%	5.2%	5.7%	4.7%
その他調整	売上高	-	-	2,120	-1,000
	営業利益	-1,469	-1,562	-1,712	-2,953
合計	売上高	103,498	110,538	126,401	120,000
	営業利益	8,348	8,368	10,472	9,000
	営業利益率	8.1%	7.6%	8.3%	7.5%

RN130第1次中計 重点施策の総括



□ 各事業の重点施策の総括

衣料繊維

既存事業で収益体質を維持しつつ、海外を拡大する。加えて新規事業を発展させ売上・利益の拡大を図る。

<達成できた項目>

- ✓ 積極的な設備投資と現場力向上による製造力強化(コストダウンと生産性向上)

<進捗に遅れが見られる項目>

- ✓ 新規市場(防刃・防炎)の創出
- ✓ 海外事業(テキスタイル・売糸・ユニフォーム)の拡大

産業機材

海外における生産・販売体制の構築を行い、ニッチな市場でシェアNo. 1、収益向上を目指す。

<達成できた項目>

- ✓ FA事業拡大による収益向上
- ✓ (株)エミーのグループ化による海外販売体制の構築(海外拡販は2020年度以降に注力)
- ✓ 海外不採算事業の収益改善(ゴーセン海外2社収益改善、アンビック香港販社清算等)

<進捗に遅れが見られる項目>

- ✓ ラケットスポーツ、フィッシング関連の収益拡大
- ✓ 環境用フィルターの中国での製造体制構築(2020年度着手)

RN130第1次中計 重点施策の総括

□ 各事業の重点施策の総括

人とみらい開発

地域のニーズを捉え、具現化し、地域に住む人々の生活や心に元気、豊かさ、幸せを提供し、未来を創り出していく。

<達成できた項目>

- ✓ ニッケパークタウン・ニッケコルトンプラザのリニューアルによる顧客満足・収益性の向上
- ✓ 新規事業として保育事業への参入
- ✓ フランチャイズ事業、キッズ事業(ピュアハートキッズランド)の拡大

<進捗に遅れが見られる項目>

- ✓ 一宮工場跡地(遊休地)の再開発

生活流通

既存の事業の枠に捉われず、自由な発想で新規事業を発掘、開拓し、異業種分野にも積極的に参入する。

<達成できた項目>

- ✓ M&Aの実施による事業セグメントの拡大
- ✓ EC事業の拡大

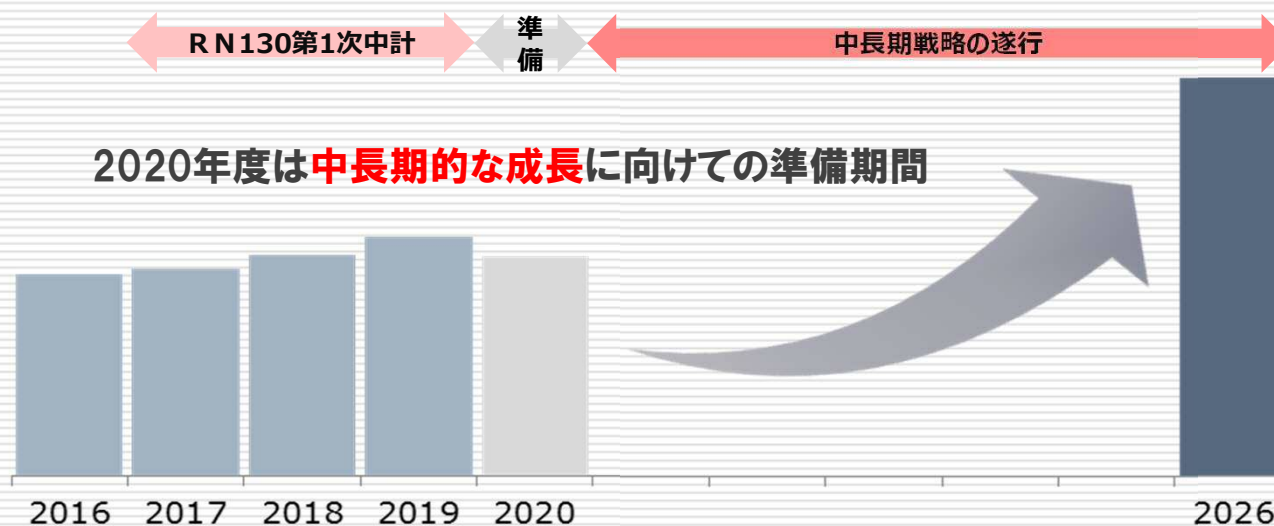
<進捗に遅れが見られる項目>

- ✓ 新規事業の発掘(既存事業における新規開拓)

RN130ビジョンの達成に向けて

RN130ビジョンの最終年度となる2026年に向けて、目指すべき企業像を確実に実現し、過去最高業績であった2019年度より更なる成長を目指すため、2020年度は単年度計画とし、RN130第1次中計の3年間を検証するとともに、今後の中長期戦略を策定する1年間と致します

RN130ビジョンとは、
2016年に策定した、今後10年間のニッケグループの目指す方向性、企業像、経営戦略を再構築し、中長期的な企業価値の向上を目指していくビジョンです。



RN130ビジョンの達成に向けて 衣料繊維事業

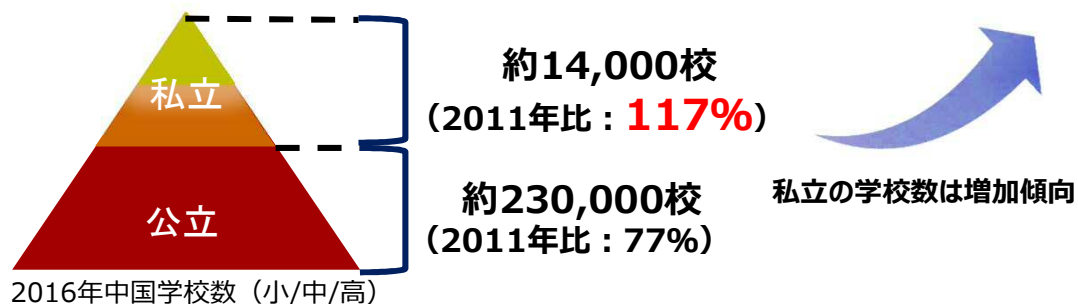
国内市場の縮小を見据え、グローバルなバリューチェーンの構築とともに海外事業を拡大していく

① 海外市場での成長：海外事業の売上高構成比を20%へ

<中国スクールユニフォーム事業>

中国の学生人数は、小/中/高合わせて1億6,662万人（日本の12.5倍）

➡私立、特にハイクラス私学の高級学生服ニーズをターゲットに拡大していく



中国での展示会の様子

② グローバルなバリューチェーン構築と工場の省力化・自動化による収益拡大

情報の共有化により生産バリューチェーンと販売バリューチェーンの密な連携を図る

外部生産バリューチェーン

密連携

ニッケグループ

密連携

外部販売バリューチェーン

RN130ビジョンの達成に向けて 産業機材事業



自動車・環境関連などの成長分野を中心に、グローバルへ収益を拡大していく

① 環境用高性能フィルター

- ・中国江蘇省へ工場増設
- ・ごみ焼却施設向けに販売拡大
(中国シェア10%へ)



② EVなど先端技術向けFA設備

- ・東日本に新工場を設立
- ・設計や製造の能力を拡充し
先端設備の提供を拡大する



③ EVなど環境車向け資材

- ・静音要求の高まりに応える資材の販売拡大
- ・EVモーター結束紐の販売拡大
- ・欧米やアジアなどグローバル営業拠点の拡充



RN130ビジョンの達成に向けて 人とみらい開発事業



街づくりの将来像を見据え、地域との繋がりを重視した複合的な街づくり開発を推進していく

保育関連、キッズランドは
事業エリアを全国に拡大していく



ピヨハートキッズランド

加古川
一宮
市川
ゆかりの地域



介護・保育の複合施設（市川市）

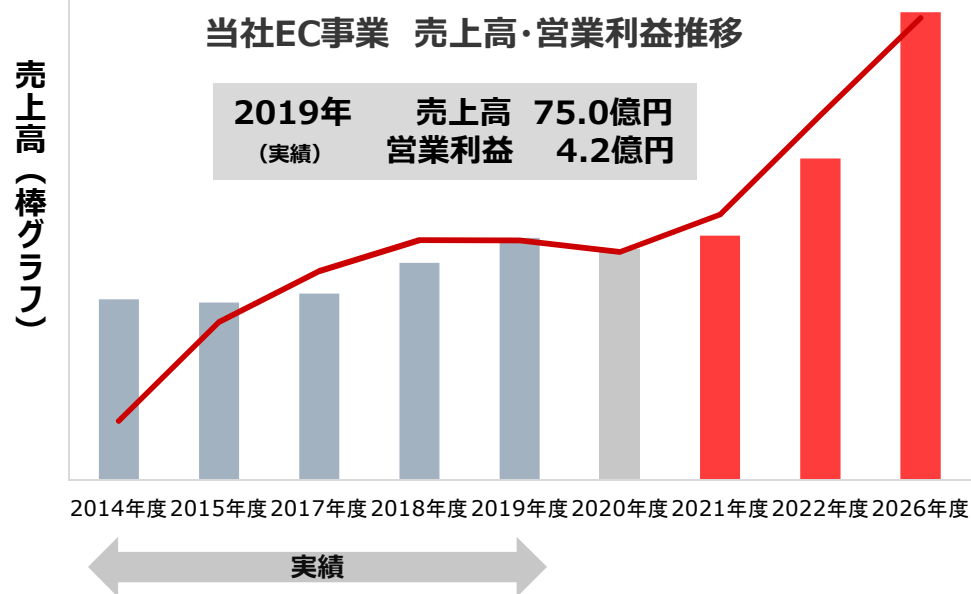
複合的なサービスを展開

- ① ライフサポート関連
 - ・保育関連、キッズランド事業の全国展開
 - ・ゆかりの地域を中心とした介護事業拡大
 - ・スポーツスクールの拡大
- ② 市川コルトンプラザエリアの総合開発
- ③ 所有資産から外部資産への不動産開発の拡大

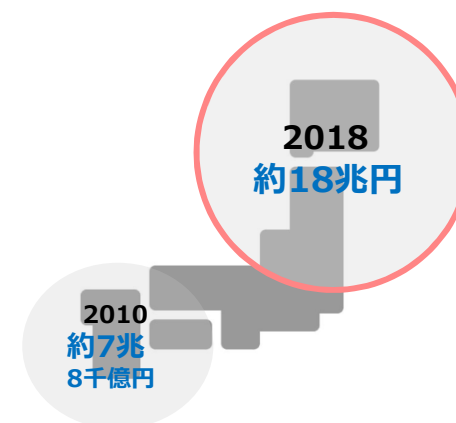
RN130ビジョンの達成に向けて 生活流通事業

ニッケグループの総合力を活かし、EC事業をさらに拡大していく

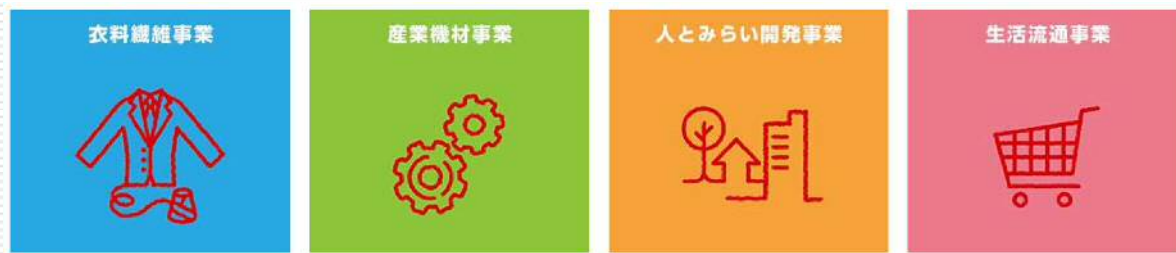
- ✓ ニッケグループで扱う様々な商材を活かし海外でのEC事業を推進
- ✓ SNSマーケティングなどの強化によるDtoC比率の向上
- ✓ SPA（製造小売）化の推進



(参考) 伸長する日本のEC市場



III. 2020年11月期 業績予想



2020年11月期 業績予想の概要



人とみらい開発事業で前期に建設工事の大型受注や販売用不動産の売却があり、2020年11月期には商業施設のインフラ整備や通信分野の事業再編を見込んでいるため、前期比減収減益の予想

売上高 1,100億円（前期比 13.0%減↓）

営業利益 87億円（前期比 16.9%減↓）

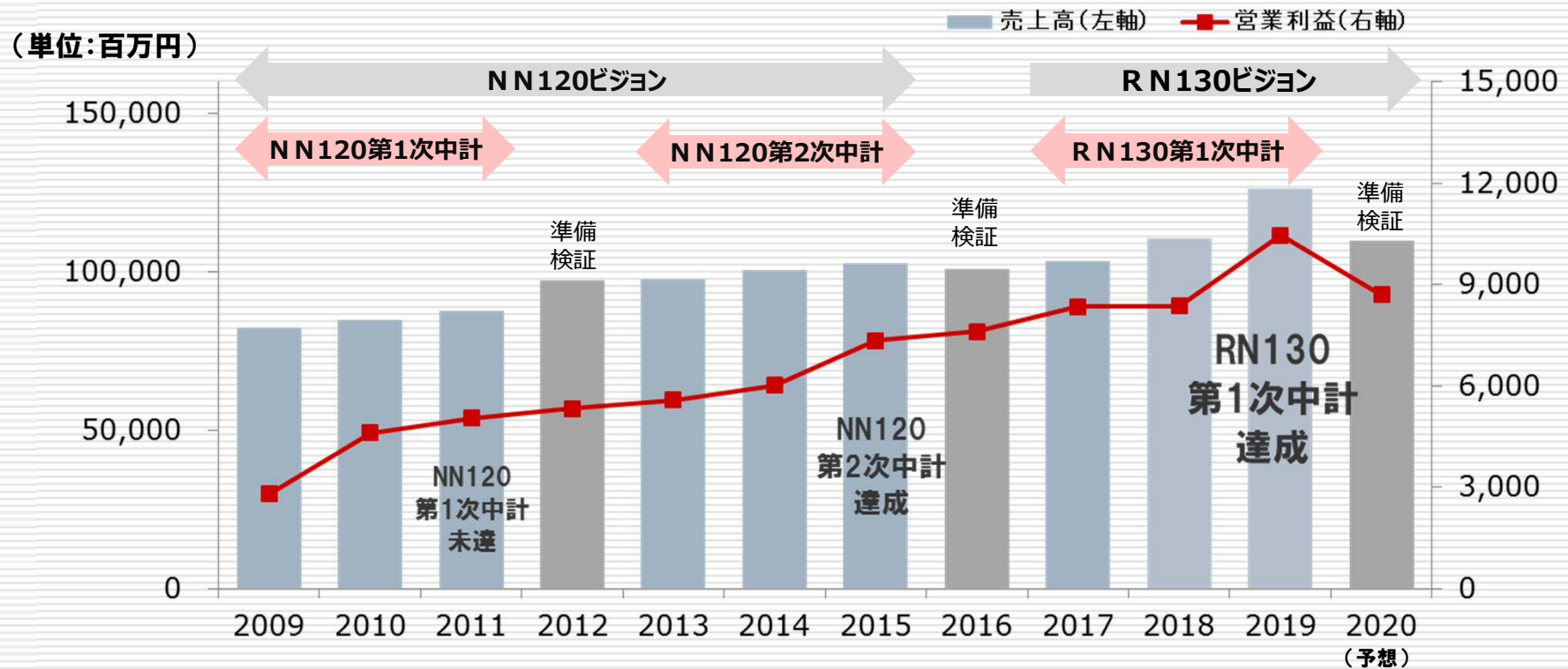
経常利益 90億円（前期比 19.4%減↓）

親会社株主に帰属する

当期純利益 57億円（前期比 12.6%減↓）

過去10年間の業績推移

過去10年間、安定的かつ着実な成長を達成
2020年度はこれまでの取組みと中長期的な成長に向けての準備・検証期間



事業環境認識

事業部	事業環境
衣料繊維事業	ビジネスユニフォーム:2020年はオリンピック特需の反動で低調 売糸:国内毛糸(ウール)市場は縮小 海外市場:スクールユニフォームは中国市場で拡大の見込み 羊毛原料価格:米中貿易摩擦や豪州干ばつの影響で先行き不透明
産業機材事業	自動車関連分野:世界生産台数は鈍化傾向で先行き不透明も、EVや自動 運転関連の市場は拡大の見込み 環境関連分野:中国は環境規制により市場拡大の見込み その他産業用分野:日系メーカー向け家電関連は国内・海外市場とも縮小 生活用関連分野:スポーツ・釣具とも国内は成熟、楽器は中国市場が減速
人とみらい開発事業	ショッピングセンター:国内市場は飽和状態(ECの台頭) 介護・保育:国内市場は拡大の見込みも競争激化
生活流通事業	Eコマース:引き続き市場拡大の見込み ホビー・クラフト:海外市場は拡大の見込み(EC市場が拡大)

2020年11月期 業績予想



2020年11月期の業績予想は前期比で減収減益の見通し

(金額:百万円)	実績		予想	前期比増減	
	2018/11期	2019/11期	2020/11期	金額	比率(%)
売上高	110,538	126,401	110,000	-16,401	-13.0%
営業利益	8,368	10,472	8,700	-1,772	-16.9%
営業利益率	7.6%	8.3%	7.9%	-0.4%	-
経常利益	9,128	11,165	9,000	-2,165	-19.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,274	6,520	5,700	-820	-12.6%

- ✓ 売上は衣料繊維、産業機材、人とみらい開発が減収
- ✓ 営業利益は衣料繊維が増益、産業機材、人とみらい開発、生活流通が減益

セグメント別業績予想



		実績		予想	前期比増減	
		2018/11期	2019/11期	2020/11期	金額	比率 (%)
(金額:百万円)						
衣料繊維	売上高	35,806	34,826	34,000	-826	-2.4%
	営業利益	1,882	2,506	2,700	194	7.7%
	営業利益率	5.3%	7.2%	7.9%	0.7%	-
産業機材	売上高	22,213	25,784	24,700	-1,084	-4.2%
	営業利益	1,562	1,820	1,700	-120	-6.6%
	営業利益率	7.0%	7.1%	6.9%	-0.2%	-
人とみらい開発	売上高	38,688	47,101	31,800	-15,301	-32.5%
	営業利益	5,770	6,907	5,500	-1,407	-20.4%
	営業利益率	14.9%	14.7%	17.3%	2.6%	-
生活流通	売上高	13,830	16,568	16,500	-68	-0.4%
	営業利益	715	950	900	-50	-5.2%
	営業利益率	5.2%	5.7%	5.5%	-0.2%	-
その他・調整	売上高	-	2,122	3,000	878	41.4%
	営業利益	-1,562	-1,712	-2,100	-388	-
合計	売上高	110,538	126,401	110,000	-16,401	-13.0%
	営業利益	8,368	10,472	8,700	-1,772	-17.0%
	営業利益率	7.6%	8.3%	7.5%	-0.6%	-

衣料繊維事業 2020/11期 重点施策

(金額:百万円)	RN130第1次中計			
	実績			予想
	2017/11期	2018/11期	2019/11期	2020/11期
売上高	35,957	35,806	34,826	34,000
営業利益	2,017	1,882	2,506	2,700
営業利益率	5.6%	5.3%	7.2%	7.9%

2020/11期 重点施策

- 国内利益の最大化
 - ✓ スクールユニフォーム生地価格10%の値上げを実施(2020/4~)
 - ✓ 受発注業務等の効率化(バリューチェーンのデジタル化)
- 海外成長の最大化
 - ✓ 中国でスクールユニフォーム事業のビジネスモデル構築
 - ✓ 欧州向けテキスタイル事業の拡大(ブランド再構築)

産業機材事業 2020/11期 重点施策

(金額:百万円)	RN130第1次中計			
	実績			予想
	2017/11期	2018/11期	2019/11期	2020/11期
売上高	20,545	22,213	25,784	24,700
営業利益	1,657	1,562	1,820	1,700
営業利益率	8.1%	7.0%	7.1%	6.9%

2020/11期 重点施策

- エミーを活用した海外拡販の加速
 - ✓ 北米・アジアをターゲットに車両向け資材の拡販
- 収益拡大に向けた事業拠点の拡充
 - ✓ 中国で環境用高機能フィルターの製造・販売強化
 - ✓ 新工場設立によるFA設備の製造・販売強化(2020/7～稼働予定)

人とみらい開発事業 2020/11期 重点施策



(金額:百万円)	RN130第1次中計			
	実績			予想
	2017/11期	2018/11期	2019/11期	2020/11期
売上高	34,470	38,688	47,101	31,800
営業利益	5,485	5,770	6,907	5,500
営業利益率	15.9%	14.9%	14.7%	17.3%

2020/11期 重点施策

- 事業環境基盤の整備
 - ✓ 通信分野における事業環境変化への対応(組織再編)
 - ✓ コルトンプラザの更なる魅力UPに向けた環境整備(インフラ関連)
- ライフサポート分野の事業拡大
 - ✓ 介護・保育関連事業の拡大(介護・保育の複合施設・写真館運営)
 - ✓ スポーツ関連事業の収益強化(スクール事業の強化)

生活流通事業 2020/11期 重点施策



(金額:百万円)	RN130第1次中計			
	実績			予想
	2017/11期	2018/11期	2019/11期	2020/11期
売上高	12,523	13,830	16,568	16,500
営業利益	656	715	950	900
営業利益率	5.2%	5.2%	5.7%	5.5%

2020/11期 重点施策

- 既存事業の拡大と深耕
 - ✓ 海外向け販売の強化(寝装品・ホビー関連)
 - ✓ 100円ショップ向けやEコマースの販路を活用した事業拡大
- M&Aによる事業拡大
 - ✓ 既存事業の周辺領域でのM&A実施(検討)

IV. 株主還元

衣料繊維事業



産業機械事業



人とみらい開発事業



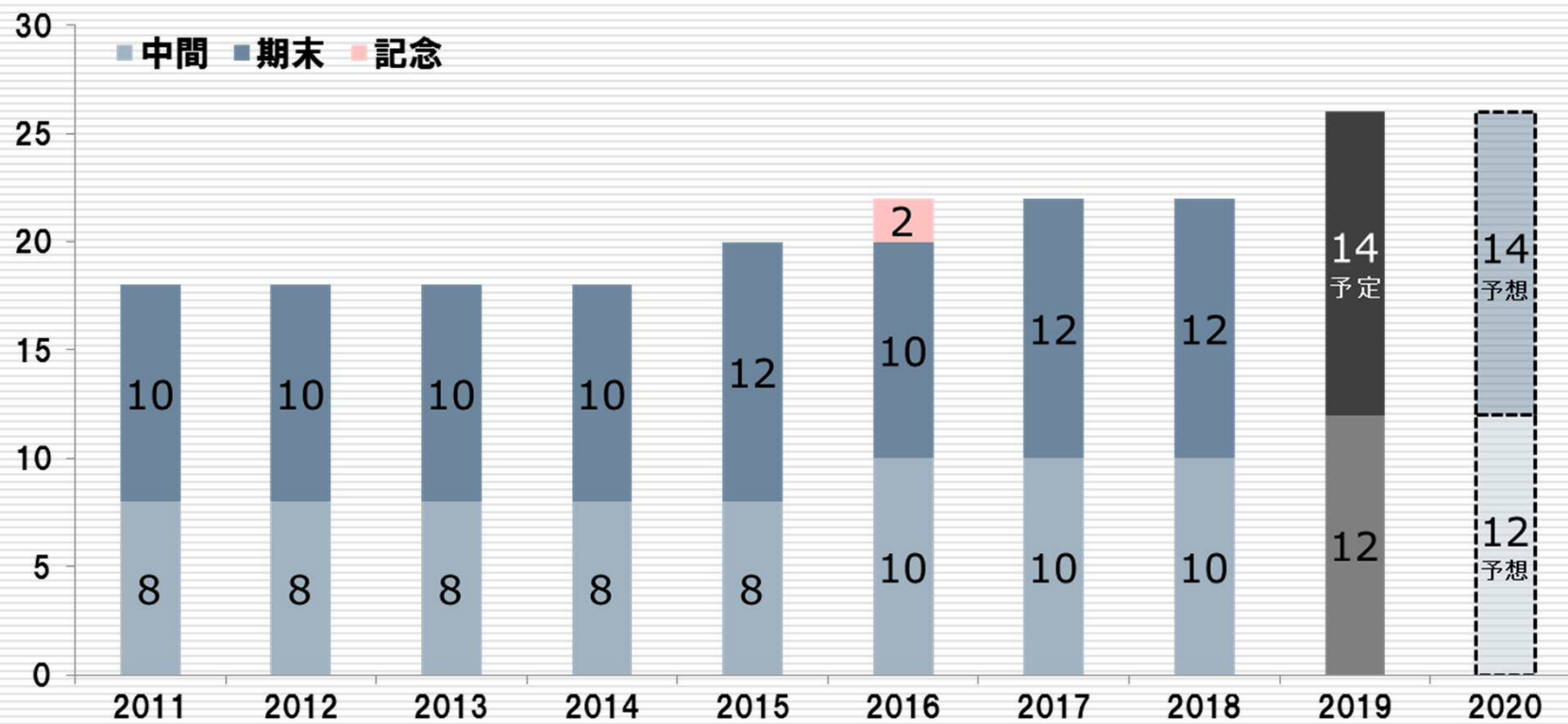
生活流通事業



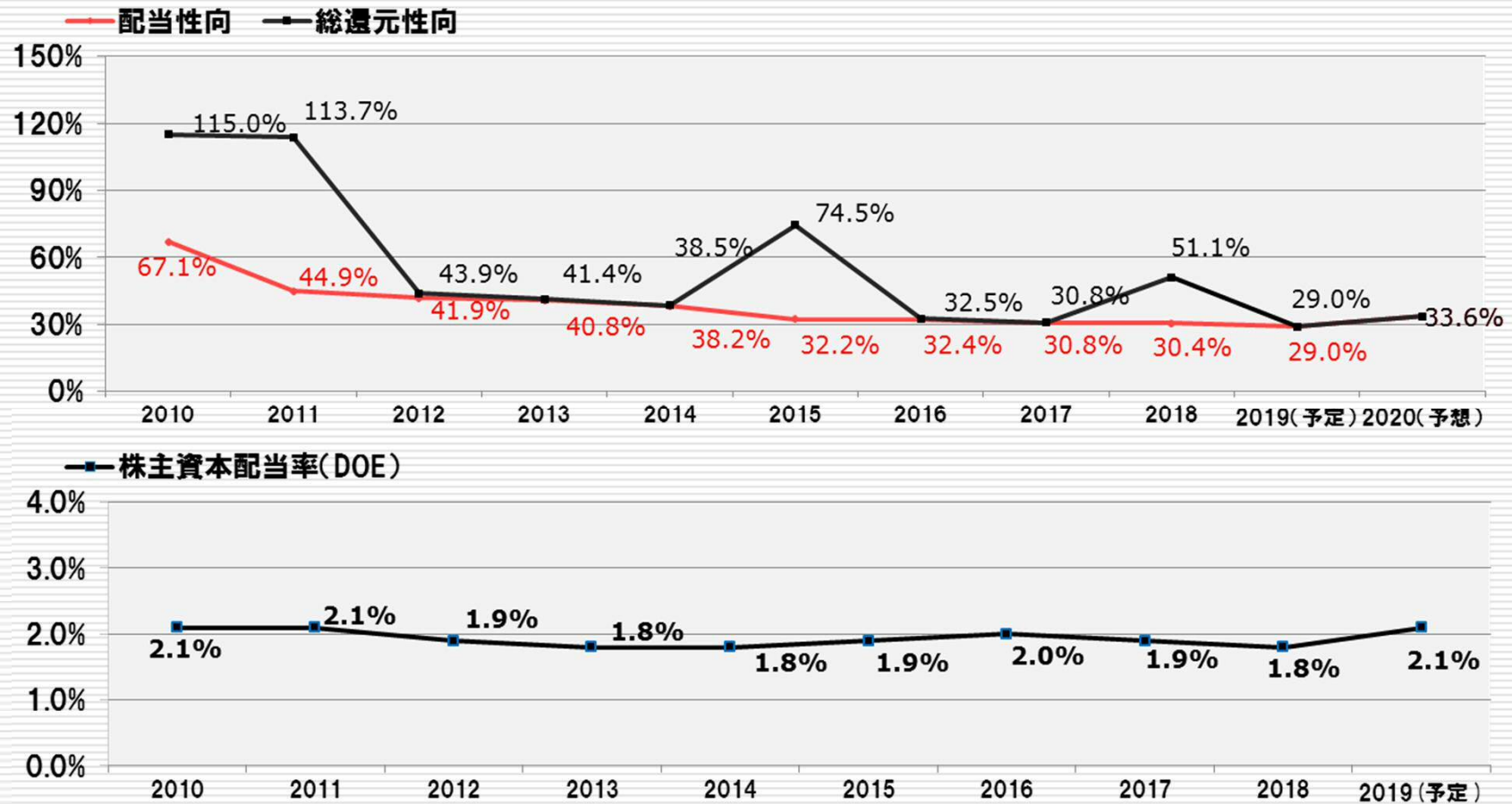
- ① 成長投資と安定的な株主還元のバランスを志向する。
- ② 成長投資については、研究開発投資、M&A投資、設備投資、人財投資など、中長期的な企業価値の向上の観点から積極的に実行する。
- ③ 株主還元については、減配しない安定的な配当政策を継続する。配当性向30%を目安とし、利益水準に応じて配当を引き上げていく。自己株式取得を含む総合的な株主還元を充実させる。

1株あたり配当

2019年11月期は、1株あたり年間26円を予定



配当指標



V. トピックス

衣料繊維事業



産業機材事業



人とみらい開発事業



生活流通事業



「ニッケ教育研究所」の設立



一般社団法人ニッケ教育研究所概要

理事長 : 楠本 景央
理事/所長 : 橋本 立志
事業活動 : 学校制服と教育との関連性についての調査研究 等

様々な視点から教育を支援

当社は、様々な視点から教育を支援する組織として一般社団法人ニッケ教育研究所を2019年10月に設立しました。いま社会や企業では、新たな価値を創造する人間力や情熱を持って問題解決していく力が求められています。一方、学びの場ではいじめや不登校などの問題が深刻化の度合いを増しています。我々はSDGsが提唱する“誰も置き去りにしない、”という考え方を尊重し、子どもたちの無限の可能性を拓く“教育”を支援する活動を行います。

昨今、学校制服が問題解決につながる可能性があるという意見が出始めていることを受け、まずは学校制服の効用について科学的に解明、その啓発活動を行ってまいります。将来的にはさまざまな視点からの教育支援を模索し、世界の未来を担う人材の輩出に貢献してまいりたいと考えています。

環境用高機能フィルター中国で生産設備を増強



高機能フィルターバッグ「ADMIREX®」(アドミレックス)

中国で環境ビジネスを拡大

当社グループのアンビック(株)では、極細繊維のPTFE を使用して独自技術で製造する高機能フィルターバッグ「ADMIREX®」(アドミレックス)をゴミ焼却施設などの用途に向けて販売しています。

同社は中国販売拠点である「安碧克(上海)貿易有限公司」(アンビック100%子会社)にて、深刻な大気汚染が社会問題となっている中国市場への販売に注力した結果、事業拡大の目途が立ちましたので、「ADMIREX®」の生産拠点を従来の姫路本社工場から、中国での製造拠点となる「江陰安碧克特種紡織品有限公司」(同100%子会社、江蘇省江陰市)へ移管の上、量産拡大すべく設備投資を行うことを決定いたしました。

これにより、中国を中心としたグローバル市場への事業拡大を図るとともに、「ADMIREX®」の高い捕集性能などの機能を活かして、環境面にも貢献してまいります。

【投資内容】

工場家屋及びインフラ	2億円
生産設備	5億円
総投資額	7億円

【稼働予定】

2021年初旬(予定)



ニッケパークタウン 第8回SC大賞リノベーション賞受賞



一般社団法人日本ショッピングセンター協会 第47回定期総会の様子

「日本SC大賞リノベーション賞」とは

日本SC大賞は日本ショッピングセンター協会が主催し、全7受賞部門で構成される。リノベーション賞はその一つで、「リニューアル実施等により、時代にあった、生き生きと再活性化したSC」に贈られる。



NIKKE PARKTOWN

地域に寄り添う街づくり

2019年4月、ニッケパークタウン(兵庫県加古川市)は全国の約3,220施設の中から、第8回SC大賞リノベーション賞を受賞しました。2016年に本館改装や西館新築等のハード面と併せ、従来コンセプトの「地域密着」に「子育て応援SC」を加え、新たに5歳児を持つファミリー層をターゲットとしたソフト面の拡充を図る大規模リニューアルを実施しました。これにより、来館者数は約1.5倍と大幅に増加しました。また、運営面において2019年は、行政や学校、市民団体等とも、共同のイベントを開催する等、地域との結びつきを深める取り組みを積極的に行っております。今後もニッケグループでは、創業期から続く地域共生の精神を礎に、魅力的な街づくり開発を進めてまいります。

VI. 参考資料

羊毛相場・為替相場の推移について

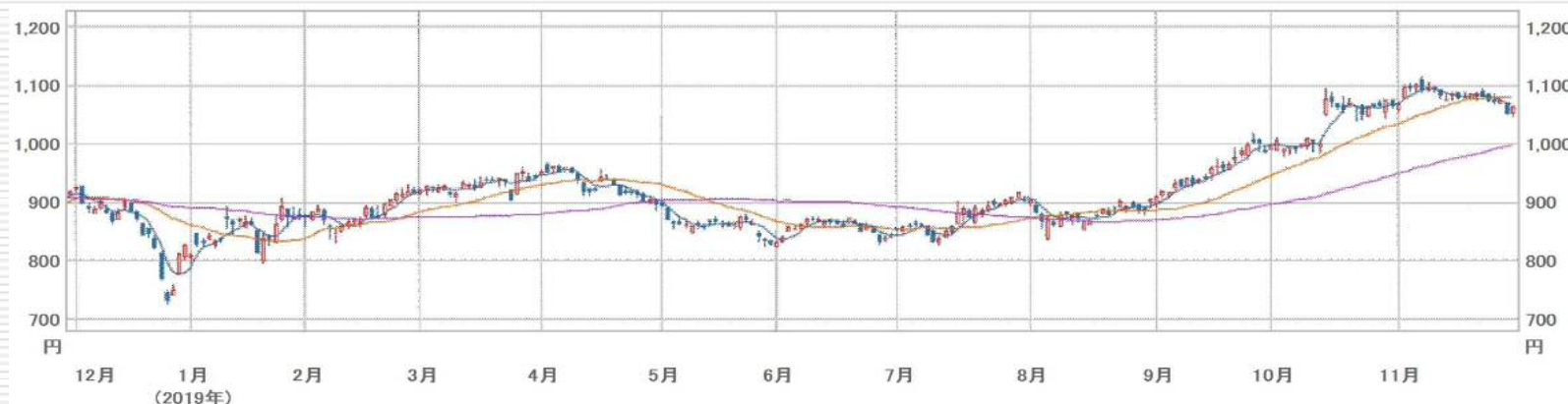


※EMI (豪州羊毛東部市場価格指標)

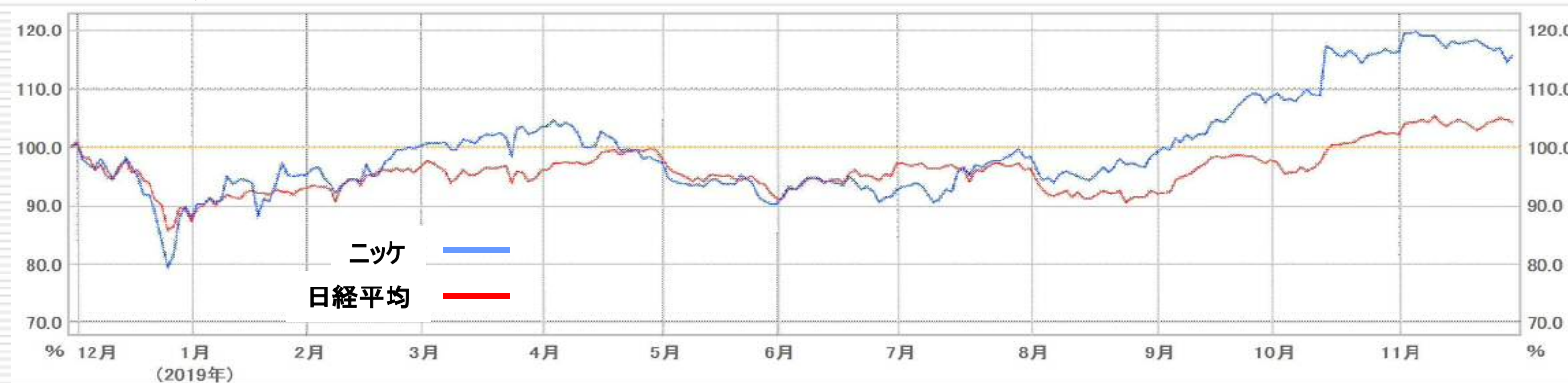
株価チャート 期間:2018/12/1~2019/11/30(直近1年)



<当社株価チャート>



<日経平均比較チャート>



**IRに関するお問い合わせ
ニッセイ(日本毛織株式会社)
経営戦略センター総務法務広報室
TEL 06-6205-6601**

本資料中の業績予想、見通しおよび事業計画についての記述は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。